

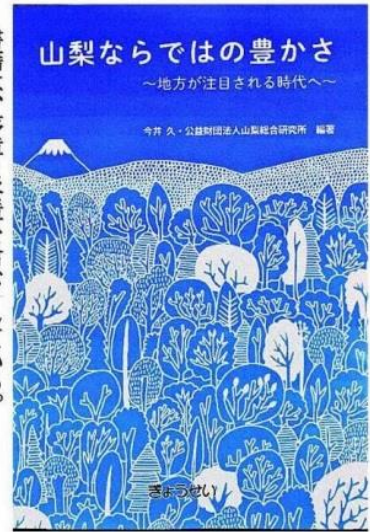
年 組 名前:

郷土の豊かさ 検証

山梨総研 25周年で書籍

山梨総合研究所（今井久理 理事長）が創立25周年記念書籍「山梨ならではの豊かさ」を出版した。ものづくりや果樹生産、健康寿命など日本トップクラスの地域資源に着目し、山梨県の豊かさとの関係を科学的に検証した。今井理事長は「県民に山梨の良さを再認識してもらい、県外の人には地方の可能性を考えてほしい」と話している。

書籍は、序章と終章を含む8章で構成されている。「エコロジカル・フットプリント国内最小」「健康寿命日本一」「桃・ぶどうの生産量日本一」「製造業の特化係数トップクラス」「ワイン県」「ミネラルウォーター生産量日本一」の六つの特徴的な地域資源について、それぞれ県内の専門家執筆。全国との比較分析、歴史、調査データなどから山梨の豊かさの一端を探った。編著にあたった今井理事長は「地域のシンクタンクとして山梨の良さを客観的に発信していくことが必要」と就任時から思いを語る。新型コロナウイルス感染拡大によるライフスタイルの変容から地方が目される時代に、「山梨が地方の豊かさを考える先事例になればいい」と期待



山梨総合研究所が出版した「山梨ならではの豊かさ」

している。A5判で208頁。研究所のホームページやインターネットから購入できる。ぎょうせい刊、2500円。
 〈山本久美子〉

(2023年1月14日付 山梨日日新聞 22面)

問1

次の文章は、本の内容について説明しています。

①から⑤に当てはまる言葉を、答えてください。

『ものづくりや①生産、②など日本トップクラスの

③に着目し、山梨県の④との関係を⑤に検証した。』

- ① ② ③
- ④ ⑤

問2

県内の専門家が執筆した、特徴的な地域資源を6つ答えてください。

-
-

問3

本を出版することで、編著にあたった今井理事長は、どのような期待をしていますか。

.....